

～ 受給者の保護者からのメッセージ ～

<小学校4年生の保護者より>

いつもご支援ありがとうございます。
早いもので小学校生活もあと二年弱となりました。
震災直後に産まれた子が、今まで何、不自由なく
育てられたのは、たくさんの方のおかげだと、
心から感謝しています。
今は、4才から始めた、そろばんや、ピアノを毎日
一生懸命練習して、大会や、試験に向けて、
がんばっています。少々おてんばではありますが、
これからも元気に育ててくれれば、親としてもうれしいです。
いつも本当にありがとうございます。

<小学校4年生の保護者より>

震災の時、まだ母親のお腹の中でした。健診は行けず、病院に行けたのは、産まれる直前でした。ぶじに産まれて良かったです。
それから10年、色々ありますが、健康に恵まれ日々嬉しいです。
本当にありがとうございます。

<小学校5年生，中学校1年生の保護者より>

いつも大変お世話になっております。

早いもので、世の中ではひと区切りの10年が経った...と言われてはますが、私達にとってはやっと10年、また10年でした。家や中物と違い、取り替える事も追いかける事も出来ない、大切な家族を失い、今もまだ辛い気持ちが消える事はありません。一番手をかけ、気持ちにゆとりと持って子育てしていくはずが...気力体力共に余裕がなく、子供にもさみしい思いや時に我慢させていると感じながらも日々の生活をこなす暮らしてです。両親2人分の愛情を注ごうと思っても、現実は今もあの日から毎日同じ苦しみとたたかっています。その中で、支援して頂いている事が大きな心の支えになってお

ます。両親そろって与えられる愛情は無いけれど、せめて生活に必要な物、本人が習いたい事を他の子同様に出来る環境にしてあげたいと思いながら育ててきました。

震災後、体調を崩しがちですが、支援のありがたみを感じながら生活しております。

下の子がまだ小学生、当時は産まれて尚もないですが、未長く安心して私達が生活出来るよう、サポートして頂きますとありがたいです。本当に、この支えに心から感謝しております。ありがとうございました。

<小学校5年生の保護者より>

皆様からご支援いただき本当に感謝しております。大震災から、はや10年が過ぎ、被災した自宅周辺も道路、建物等と大分、復興が進んだように思います。しかし、当時のことを振り返ると、まだまだ心が痛みます。当時4ヶ月だった孫も、はや小学5年生と育ちました。現在は勉強、遊びに友達と共に元気いっぱいです。支援金については、ありがとうございました。大事に利用させていただいております。

これからも、前向きな気持ちで過ごして行きたいと思っております。

<小学校6年生の保護者より>

ご寄附いただき、ありがとうございます。
小学校6年生になり、勉強に運動に頑張っています。
来年度から中学校になります。これまで以上に頑張らせてほしいです。
本当にありがとうございます。

<小学6年生の保護者より>

震災を経験し、黒の絵を書いていましたが、幼稚園、小学校に通い、充実しカラフルな絵を書けるようになりました。

夢を目指し、成長して行きたいと思います。

寄附をして頂いた方々本当にありがとうございます。

<小学校6年生、高校1年生の保護者より>

当時5才だった娘が今年高校生になりました。制服や教材、定期代等、お金がたくさんかかる事におどろきました。4月からは息子も中学生になります。子供たちの成長が励みとなり、楽しみです。

改めて、みな様のご支援に感謝しています。ありがとうございます。

コロナウイルス感染に関する不安やいろいろな制限など大変な世の中になってしまいました。

みな様も、お体に気をつけてお過ごしください。

< 中学校 2 年生，短期大学 1 年生の保護者より >

これまで、長い間、沢山の方々にお世話になり、
子供達も大きく成長でき、現在、娘は夢に向かい
短大で勉強しています。一人暮らしになり、私としては心配です
が、勉強と日々の生活とアルバイトを頑張っているようです。
息子も、楽しく学校に通い部活に一生懸命打ち込んでいます。
今、コロナ禍で、皆さんが大変な思いをしている中、それでもご支
援下さり、温かいお気持ちをいただき、感謝の気持ちでいっぱい
です。
いつか、子供と共に、皆さまにお返しができますよう、
今後も頑張っまいます。本当にありがとうございます。

< 中学校 3 年生の保護者より >

いつもご支援いただきありがとうございます。
初めての高校受験。父親に相談する事も叶わずとても不安に感じており
ます。子どもからもお金大丈夫？と聞かれますが、それは大丈夫。
応援してくれる方がいるから安心してと答える事が出来ました。本当に
皆様には感謝しています。子どもには困っている人を助けてあげられる
大人になれるようしっかり学んで社会に恩返しして欲しいと思ってい
ます。

<中学校3年生の保護者より>

いつも大変お世話になりました。有難うございます。
早いもので大震災より10年が過ぎ、皆様方のご支援のお陰で、今は普通に近い生活を送れるようになったと思っています。
現在は高校入学試験に向けて勉強を頑張っているところです。ご支援のお陰で塾をはじめ本人の希望に沿った教育の場を提供できています。
心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

<中学校3年生の保護者より>

いつもありがとうございます。震災当時4さいだった娘も中学3年生になりました。あの頃は、小さな子供とこれからどうしよう、、、ととても不安な気持ち、そしてくやしい気持ち、悲しくて仕方がない気持ちでいっぱいでした。外出して家族連れの人達を見るたびに哀しくてやり場のない気持ちで過ごした日も多かったです。けれどそんな時も、会ったこともない誰かがどこかで応援してくれてる！！と感じるととても救われる気持ちになり、頑張れた気がします。本当に感謝しております。

<高校1年生の保護者より>

震災で妻を亡くし、10年の月日が過ぎました。息子の成長した姿を見ると、全国から支援して下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。震災当時、5才になったばかりの息子も現在、高1となり、高校生活を楽しんでます。息子が社会人となり、一人歩き出来るまでにはもう少し、時間がかかります。私も精一杯、仕事をがんばります。みなさんから頂いた支援金のお返しにはもう少し時間がかかると思いますが、感謝の気持ちを忘れず、息子が社会人になった時には、二人で全国のみなさんに、お返ししたいと思います。全国のみなさん本当にありがとうございます。

<高校1年生の保護者より>

日頃よりたくさんのご支援に感謝申し上げます。震災で母親（私の娘）と弟を亡くした孫（当時5歳）を養育することになり、“必死”に過ごしてきました。その孫も高校生に。今年の4月には二年生に。勉強と部活の両立は大変そうですが、新しく友達もでき、楽しんで生活している様子が孫の話しから伝わってきます。

部活は中学校から引き続き吹奏楽部。孫の奏でるオーボエの音色が私は大好きです。コロナで中止になることもありましたが、コンクール、定期演奏会、イベント等に、私たち祖父母は、他の保護者と一緒に追っかけをしております。孫と一緒にいるからこそ、味わえる体験です。入学式、卒業式と節目節目の行事は勿論、普段の生活に於いても娘がいてくれたら、、と思うことが多々あります。が、孫の前向きな姿、将来の目標に向かって頑張る姿を側で見ていると、私たち（祖父母）も「孫に負けてはいられない！」そんな気持ちにさせられます。

5、6年前ある知人から「孫さん育てられていいね」と言われたことがあります。「何でいいの？」と複雑な心境でしたが、今は、「孫と一緒に最高だよ」と思えます。60過ぎの子育ては戸惑いもあり大変でしたが、それ以上に孫の成長を側で見守れる楽しみもあります。

いつかは私たちの元から自立していくかもしれない孫ですが、皆様のご支援をいただきながら頑張っていこうと思います。

どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

<高校3年生の保護者より>

いつも大変お世話になりまして有難うございます。
早いもので大震災より10年が過ぎ、皆様方のご支援のお陰で、今は普通に近い生活が送れるようになったと思っています。現在は大学入学共通テスト及び二次試験に向けて勉強を頑張っているところです。志望大学は首都圏の大学を目指していますので自宅から離れまた一歩新しい生活を踏み出すことができます。ご支援のお陰で様々な選択肢も生まれ感謝申し上げます。ありがとうございます。

<高校3年生の保護者より>

いつもご支援いただきありがとうございます。
皆様のおかげで金銭的に何不自由なく生活することが出来とても感謝しております。
早いもので震災当時小学校1年生だった子供も今年3月高校を卒業します。
長い間 本当にありがとうございます。

<高校3年生の保護者より>

震災からまもなく11年になります。その間ずっとご支援いただきありがとうございます。将来の夢、目標に向かって頑張っております。ずっと助けていただいた分、次はみなさんに恩返しができるように！！

<高校3年生の保護者より>

いつも御支援ありがとうございます。

おかげ様で、元気で頑張っています。

(大学進学の手配で) 共通テストを終え少しホッとしたのか、少しだけのリフレッシュしています。国立の前期に向けあと少しの期間手が抜けません。今後共よろしくお願い致します。

<高校3年生の保護者より>

明けまして、おめでとうございます。

今年もコロナの再拡大で年が明け、残念に思います。

震災時は、小1でしたが、早いもので高3となりました。

母親と妹を亡くしておりますが、震災の事は勿論、母親と妹との思い出等をいまだに、話す事はありません。話したくないのか、私(祖母)には、記憶から消してしまっているかのようにみえます。

それでも、ふさぎこむ訳でもなく、友達と楽しく遊んだり、明るく育てている事が救いと思っています。

皆様からの支援によって、習い事や塾等にも、人並みに通わせる事ができ、音響関係の専門学校に進路が決まりました。

東日本大震災後も、全国各地で色々な災害がおきる中、継続して支援していただいている事、本当に言葉では言い表せない程感謝しております。

皆様のお気持ちを無駄にしないよう、頑張ってくれると思っています。本当に、ありがとうございます。

<大学3年生の保護者より>

より高みを目指し、様々な先生の学びを得る為
大学への編入をしました。あと1年で卒業となり
ますが、しっかり身に付くものと信じております。
学びの選択肢を持てたのも、基金からの後支え
あっての事と考えています。ありがとうございます。
あと1年、よろしくお願ひします。

<大学3年生の保護者より>

東日本大震災みらい基金にも育英基金により娘は
現在大学3年生になりました。

いよいよ今年4年生。自分の目指す場所、
志を持ち、全力で学んでもらうこと。

基金を通じて支援頂いた方々への感謝の証と

なるはずです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

<大学4年生の保護者より>

コロナ禍で就職活動に苦労していたようですが、何とか就職も決まり、この春から社会人になります。ひとり親にとって、基金を頂けた事で、通学時の交通費やらゼミ仲間との社会貢献活動への参加にも取り組む事が出来ました。ありがとうございます。

<保護者より>

みやぎこども育英基金のおかげでこれまでやってこられたと思っています。私事で職場を異動になり、その前から精神的にひどいところに、ちがう所について、一所懸命がんばりましたが、きづいたら仕事ができなくなって、今まで、子供たちのためにがんばってきたのに、ここにきてなんでと自分をせめてばかりでした。毎日少しずつよくなってはいますが、なかなか前に進めず、落ちこむこともあります。今まで基金でお世話をいただいた方の思いも受けとめてがんばっていきたいと思います。息子も就職が決まり、これからの事が不安でイライラしたり、自分でも悩み事も沢山あると思いますが、家族で、毎日がんばっていきたいと思っています。

本当にありがとうございます。

皆さまもお体に気をつけてください。

<大学4年生の保護者より>

何時もご支援頂きまして大変有難うございます。

震災から早11年が経とうとしておりますが、お陰様で今年3月には仙台大学を卒業し震災で他界した亡き母と同じ介護関連の施設へ就職が内定いたしました。

今後は皆様から支えて頂いた事に感謝しながら介護の仕事をしていきたいと本人も話しており、今まで色々な方々にお世話になった分少しでも社会へ恩返しのできる大人になることを期待しております。

ご支援頂きました方々、県教育庁の方々には心より御礼申し上げます。長い間支えて頂き本当に有難うございました。